

谷川俊太郎さん死去

92歳 詩人「二十億光年の孤独」



詩集「二十億光年の孤独」でデビュー以来、現

代詩の最先端を歩き続けるとともに、作詞、翻訳、脚本など幅広い分野で活躍した詩人の谷川俊太郎（たにかわ・しゅんたろう）さんが13日、老衰のため都内の病院で死去した。92歳。葬儀は近親者で行った。お別れの会を行うが日取りなどは未定。喪主は長男、賢作（けんさく）さん。（評伝を社会面に）

東京生まれ。父は哲学者の谷川徹三。都立豊多摩高校を卒業した195

0年、詩人の三好達治の紹介で詩「ネロ他五篇」を文芸誌に発表。52年、みずみずしい感性で宇宙との交歓をつたった詩を表題作とする「二十億光年の孤独」を刊行して注目を集める。清新な感受性をうかがわせる作品や言葉遊びによるユーモラスな作品で多くの読者を獲得する一方で、実験

的な作風にも挑み続けた。代表作に「62のソネット」「定義」「コカコーラ・レッスン」「落首十九」など。子供向けの詩や童話、絵本なども手掛け、「はだか」（絵・佐野洋子）などがある。「世間知らズ」で萩原朔太郎賞（93年）、「トロムソコロージュ」で鮎川信夫賞（2010年）、「詩に就いて」で三好達治賞（16年）を受賞。作品は海外にも翻訳されており、22年には世界の優れた詩人に贈られるストルガ詩の夕べの金冠賞を受けた。

詩以外の活動も多彩だった。テレビアニメ「鉄腕アトム」の主題歌など、多くの歌を作詞。1962年には「月火水木金土日の歌」で日本レコード大賞作詞賞を受賞した。